



# 2月の園だより

令和5年2月1日

目黒区立八雲保育園 園長

朝の人数報告当番が出来なかった5歳児が、午後に当番をすることになりました。人数報告は終わっているのに何をしてもらおうかと考えた結果「0歳児と遊ぶ」という当番をお願いしました。5歳児が0歳児室に入ると、遊んでいた0歳児の手がピタッと止まります。人見知りで泣いてしまうかと思ったのですが、5歳児が「何して遊んだらいいかなあ」と室内を見渡し壁面のプレイボードに向かうと、0歳児もついて行き、人見知りどころか近距離で一緒に遊び始めました。5歳児が段ボールの家に入ると同じように入ろうとしたり、窓から顔を覗かせて「ばあ」とあやすと笑ったりするなど、お互いの距離はすぐに縮まりました。0歳児が安心して心を開くのは何故だろうと不思議に思いながら見守っていましたが、そのヒントは5歳児の姿にあるように感じました。保育士は“こんな風に遊んでほしい”“どうやって遊びを展開しよう”という思いで働きかけることが多いのですが、5歳児はとにかく自分自身が楽しんで遊んでいるのです。その姿は0歳児に安心感と信頼をもたらす“一緒に遊びたい”という自発的な姿を引き出したように感じます。5歳児が保育室から出ていく時のもっと遊びたそうな0歳児の表情が印象的でした。

子どもたちにとって豊かな経験が積み重なっていくように、保育士も一緒に時間を忘れるくらい楽しく遊ぶ毎日でありたいと願っています。遊びを通して“何でも自分で出来る”“やってみよう”という確かな思いを持って子どもたちが一つひとつのことに取り組めるよう、丁寧に援助していきます。

## 今月の行事予定

節分 全園児  
中旬 避難訓練 身体計測

## 来月の行事予定

卒園お祝い会 5歳児  
お店屋さんごっこ 全園児  
お別れ散歩 3・4・5歳児

\*年間行事計画から日程が変更となっています。

移動日 全園児  
お別れ会 全園児



## クラス懇談会

0歳児クラス 16:30~17:30  
1歳児クラス }  
3歳児クラス } 16:30~18:00  
2歳児クラス }



## 子どもたちとともに

栽培した野菜を収穫し、調理室に届けに来た子どもたちは「こんなに大きいの とったよ」「私はこんな形」と見せたり、数を数えながら「こんなにいっぱい」とザルに入れたりしています。調理職員が「たくさんとれたね」と声をかけると、誇らし気で嬉しそうです。「(収穫した野菜は) おやつの時間に出すね」と言うと「おいしく作ってください」という言葉や、時には「塩味で」「お醤油で」など味付けのリクエストも聞かれます。芋汁作りなどの食育活動では、いるか組(4歳児)のピーラーの使い方やしろくま組(5歳児)が包丁を丁寧に扱う姿に成長が感じられ、とても嬉しく感じます。

これからも子どもたちが「食」に関わる経験を通して作る楽しさ、食べる喜びを感じられるようにサポートしていきます。

歌や音にあわせて・・・

指先まで すてきでしょ



### あひる組（1歳児クラス）

『うさぎ』や『どんぐり』『とんぼ』など、リズム遊びで楽しんでいる歌を口ずさみながら自由遊びを楽しむ姿が見られます。ある日、園庭に設置した一本橋の上に立ち「うさぎ」になって跳ねている子がいました。保育士が「うさぎがぴょんぴょん やまからぴょん」とリズム遊びの曲に乗せて歌い始めると、近くにいた子たちも一本橋の上に立ち、体を弾ませています。保育士が「うさぎさんがいっぱいだ」と声をかけると嬉しそうです。うさぎになって跳ねると一本橋が揺れるのが面白いようで、横並びで楽しんでいます。大好きなリズム遊びによって、表現する楽しさだけでなくバランスを取ったり体をコントロールする力がついてきたことを感じました。

リズム遊びをホール以外にも様々な場所や場面で取り入れながら、楽しさや面白さを感じられるようにしていきます。



### ぺんぎん組（3歳児クラス）

ピアノの音が鳴ると、子どもたちはホールの広い空間めがけて飛び出していきます。音に合わせて腕を伸ばしながら走ったり、指先やつま先まで伸ばそうと意識してポーズを決められるようになりました。「見てすごいでしょ」と言葉からも自信が伺えます。4歳児クラスのスキップを見てからは、毎回「スキップやりたい」と声が上がります。スピードに乗っている子もいれば前ギャロップの子、片足スキップの子と様々ですが、友達と顔を見合わせながら、どの子もリズム感が楽しくて仕方ないといった表情でスキップを楽しんでいます。

リズム遊びを通して“友達と体を動かすことが楽しい”“気持ち良い”と感じる経験を積み重ねていきます。



### らっこ組（2歳児クラス）

また あそびに  
行きたいな

フリースペースは、子どもたちにとって特別な場所のようです。フリースペースに行くことを知らせると「えっ、遊んでもいいの」「やったあ」と大喜びで向かいます。

4・5歳児が作ったカプラ積木のタワーや街などに魅了されながら、近くで遊ぶ際は壊さないように慎重です。2歳児クラスには無い玩具で遊べることも楽しみの一つです。電車を長くつなげて「貨物列車が通ります」と荷物に見立てたカプラ積木を落とさないように走らせたり、駅を作って木製人形の乗客を並べたりして様々な玩具を組み合わせています。4・5歳児がつなげた線路を使わせてもらえる時はとても嬉しそうです。最近はコマにも興味津々で、幼児クラスが回す様子をじっと見えています。



八雲保育園の特徴でもあるフリースペースでの経験によって遊びの幅が一層広がっていくよう、保育士も一緒に遊びながら援助していきます。